Special Report

特集

創立90周年を迎えて

これまでの歩みと創立90周年事業

ご存知ですか? くまもとの赤

トピックスロボット講師との連携による金融教育



Disclosure Report **2015** ディスクロージャー誌 情報編



うるおいある未来のために。

どんなときも一人ひとりがお客さまと 真摯に向き合い、まごころのこもった応対で 皆さまのよりよい未来を拓いていきます。 お客様第一主義に徹し、 最適の金融サービスを 提供します

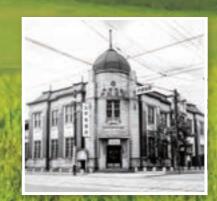
> 創造性に富み、 自由闊達で人間尊重の 企業文化を確立します

企業倫理を遵守し、 豊かな地域社会の実現に 積極的に貢献します

Disclosure Report 2015
CONTENTS

- P3 トップメッセージ
- P4 第六次中期経営計画
- P5 特集

創立90周年を 迎えて



- P13 個人のお客様 ライフステージプランのご案内
- P15 法人のお客様 **6 次産業化支援**
- P17 トピックス 小学生向ける

小学生向け金融教育の開催 県内施設の世界文化遺産 登録決定



- P19 肥後銀行のこれから **鹿児島銀行との** 経営統合
- P21 肥後銀行について **当行の概要・** 業績ハイライ



皆さまには、平素より格別のご愛顧を賜り、 誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当行に対するご理解を一層深めていただく ため、このたびディスクロージャー誌を作成 いたしましたので、ご高覧いただければ幸い に存じます。

さて、当期の国内経済は、消費税率引き上 げに伴う駆け込み需要の反動などの影響がみ られたものの、企業収益が改善に向かうなか で、設備投資は緩やかな増加基調を維持し、 また、雇用・所得環境の着実な改善を背景に 個人消費が基調的には底堅く推移するなど、 緩やかな回復基調を続けました。

一方、県内経済も国内経済同様に、消費税 率の引き上げに伴う影響もあり、個人消費や 住宅投資に一部弱めの動きがみられるものの、 県内製造業の生産が着実に回復していること に加え、雇用・所得環境については労働需給 面、所得面ともに改善するなど、基調的には 緩やかな回復を続けました。

以上のような経済環境の中で、当行は「第 五次中期経営計画第2フェーズ | の最終年度と して、「お客様と伴に価値共創⇔最適な金融サ

ービスの提供 | をテーマに、お客様との取引 拡大・深化に向け取組んでまいりました。

本年度は、創立90周年を迎えるとともに、 「可能性の追求~潤いある未来の創造へ~」 をテーマとする第六次中期経営計画をスター トさせ、私ども役職員一同、皆さま方のご期 待にお応えできるよう、格段の努力をいたす 所存でございます。

また当行は、鹿児島銀行と経営統合に関し て最終合意し、10月の持株会社設立に向けた 準備を着実に進めているところでございま す。活力ある地方の実現に向けて地元熊本と の信頼関係を更に強化し、九州においてお客 様から真に愛される最良の金融グループを目 指してまいります。

今後とも何卒倍旧のご支援、ご愛顧を賜り ますようお願い申し上げます。

平成27年7月

第六次中期経営計画

地方経済を長期的観点から展望した場合、人口減少社会における経済規模の縮小や少子高齢化の進展によ る経済構造の変化が予想されています。このような環境下、地域密着を更に深化し、地域の産業や雇用を 創出していくという地方創生に積極的に取組むことが地方銀行としての使命であると認識しています。 当行は、構造的に縮小傾向にある地方経済を維持発展させていく構造対策のスタートを切るものとして 第六次中期経営計画を策定しました。

肥後銀行グループでは、尚一層コーポレートガバナンス強化に取組むとともに、第六次中期経営計画を 通じて企業理念である「お客様第一主義」を実践し、管理していくことで、マーケティングを強化し、 お客様との価値共創を図っていきます。

計画期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間

目指す姿 最良の金融サービスを提供し、お客様から真に愛される銀行

長期的な日標として、風土改革構造改革を継続し、環境変化に柔軟に適応できる強靭な企業体質を構 築していくとともに、地域密着を推し進め地方経済活性化に貢献することにより、企業理念の実現に 向けて取組んでいきます。

テーマ 可能性の追求 ~潤いある未来の創造へ~

金融機関を取り巻く環境が大きく変化する中、更に経営統 合という新たなステージに立つにあたって、今までの考 え方・やり方に囚われず、永続的な成長を目指していくた め、「可能性の追求~潤いある未来の創造へ~」をテーマと しました。可能性を追求する分野として、右記の3項目を 掲げております。

お客様との稠密な取引の 拡大可能性

2 ヒトの成長可能性

収益機会の拡大可能性

基本戦略

- 1. お客様第一主義の実践と管理
- 2. 経営統合効果の最大化
- 3. マーケティング戦略
- 4. マネジメント戦略
- 5. マンパワー戦略

財務目標(平成29年度)

コア目標		サブ目標	
業務粗利益	556億円	株主資本ROE	4.0%台
業務純益	159億円	総預金+NCD平残	+2,600億円
単体当期利益	124億円	総貸出金平残	+2,800億円
自己資本比率	12.5%		
ROA	0.25%		
OHR	70.4%		

肥後銀行、

これまでの歩み

明治11年 (1878年) に、肥後銀行の前身行である 「宇土第百三十五国立銀行」が創立され、 翌年4月に宇土町 (現・宇土市) に開業しました。 明治29年 (1896年) には、 来民銀行・人吉銀行と合併し「九州商業銀行」に、 さらに大正7年 (1918年) に 「熊本銀行」に改称しました。

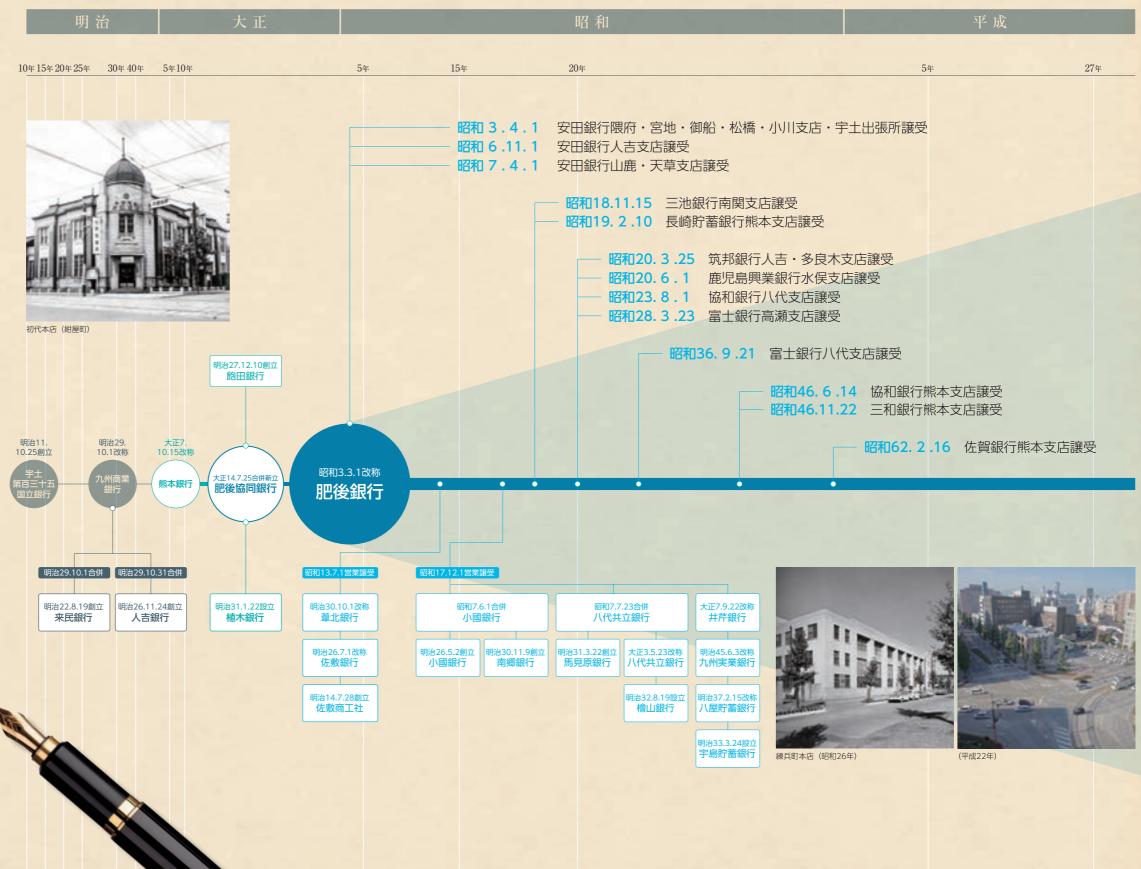
大正14年(1925年) に、熊本・飽田・植木の 三行が合併し、「肥後協同銀行」を設立、 この年を、当行創立の年としています。 昭和3年(1928年)、「肥後銀行」に商号を変更しました。

その後、熊本県内の銀行の合同が進み、昭和13年(1938年)に葦北銀行から、昭和17年(1942年)に小國・八代共立・井芹の三行から、営業を譲り受けました。また、昭和期には、安田銀行を始めとして、多くの銀行から県内の店舗を譲り受けてまいりました。

当行の初代本店は紺屋町に設置、 花畑町の勧業館跡への 移転を経て、昭和26年(1951年)、練兵町に 本店を新築・開業。以来、60年が経過しました。 建物の老朽化に対応し、 3棟に分散していた本部機能の

効率性を高めるため、平成22年(2010年)より、 建替え構想の検討を開始、平成23年3月11日の 東日本大震災を機に、計画を早め、平成27年、 新しい本店ビルが完成いたしました。

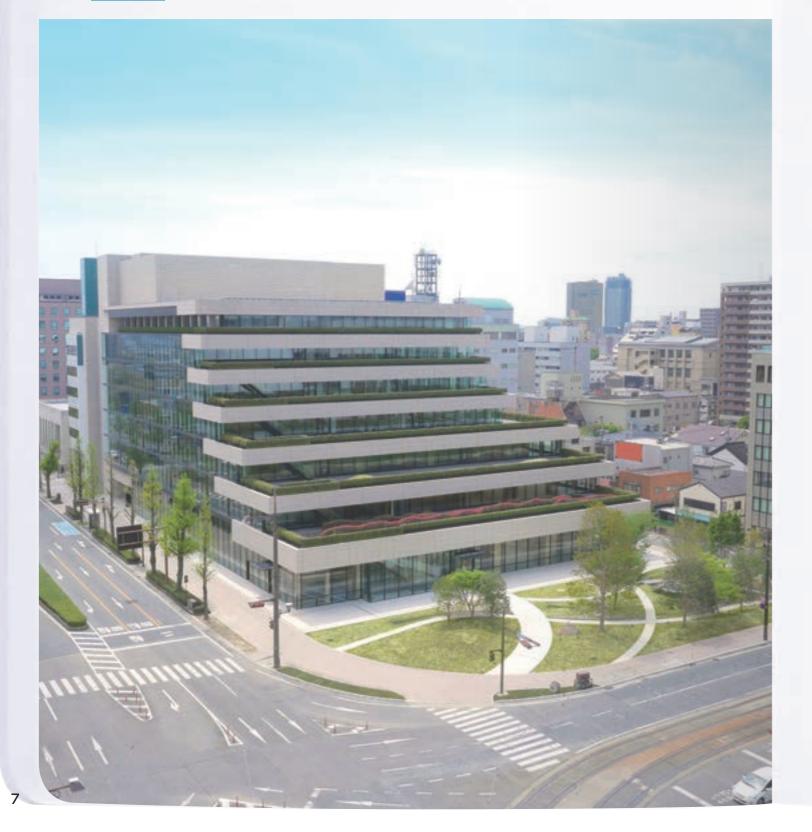
The history of the Higo Bank



創立90周年事業

新本店ビル完成

基本テーマ 自然との共生、環境との調和



建築可能な容積の4割を 街にひらかれた空間へ提供

中心市街地の景観や環境と調和した規 模・デザインとしました。

建築可能な最大の規模に比べて、建蔽 率・容積率とも低く抑え、街にひらか れた空間を提供しています。



「武者返し」と「棚田」を モチーフにした外観

熊本城の「武者返し」と「棚田」をモチー フにした外観で、熊本の風土と文化を 表現しています。





熊本の「水」と「みどり」 豊かな里山をイメージした庭

敷地の約2割を利用して、「里山」をイ メージした「練兵の庭」を設けました。 当行の「水」と「みどり」の愛護への 取り組みを表現しています。



環境への対応



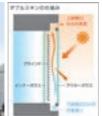
高度な業務継続態勢と環境への配慮

防災への対応









ダブルスキン (断熱・遮熱効果による空調負荷低減)

新ブランドをスタート

当行は、これまで以上に、地元熊本のみなさまとのつながりを強めるとともに、地方銀行として更に地域のみなさまのお役に立ちたいとの想いから、"愛され、選ばれ続ける銀行"を目指し、平成4年以来23年ぶりに新しい肥後銀行ブランドをスタートいたしました。

「シンボルマーク」を刷新し、新たに「ブランドスローガン」を制定いたしました。また、看板、名刺、通帳、カードなど、お客さまとの重要な接点のデザイン改定を実施するほか、行員のリテラシーや接遇マナーの更なる向上などの施策にも取り組み、新しい「肥後銀行」を行員一丸となって、みなさまとともに創りあげていきます。

シンボルマーク



"潤環"

「うるおい (潤い)」と「循環」を組み合わせた造語

デザイン

当行のイニシャル「H」と「∞」(無限)をモチーフにしたデザインは、永遠に続くうるおいのサイクルである"潤環"を表現しています。

また、中央のスクエアでつながる造形は、当行が 環境やお客さまといったさまざまな要素や事象を、 つなぐ存在でありたいとの思いを込めています。

カラー

地下水をイメージした青の"アクア・ブルー"は、思いやりやまごころといった誠実さを表しています。 また、みずみずしく輝く緑をイメージした"リーフ・グリーン"は、創造性や未来感を表しています。

ブランドスローガン

うるおいある未来のために。

豊かな恵みある日々の生活を表現するとともに、 私たちが大切にしている、ふるさとくまもとの水 とみどりへの想いを込めています。 現在もこれからも、ずっとみなさまにお役立ちするために、邁進していきたいという当行の想いを表現しています。

新デザイン展開イメージ



名刺



封筒



通帳



キャッシュカード



看板

「ひごっ子の森保育園」の開設

「女性活躍推進に向けた取組み」の 一環として、事業所内保育施設を開設

当行では、女性が仕事と家庭を両立し安心して働き続けられるよう環境整備を進め、女性が幅広い業務分野にチャレンジする機会をより積極的に提供することで、女性の能力開発とキャリア形成支援を行ってまいります。

そのひとつの施策として、「事業所内保育施設」 を開設しました。当行および関連会社従業員の子 育て世代が、育児をしながら安心して働くことの できる環境を提供し、女性の活躍を支援したいと 考えております。





女性行員の制服をリニューアル

創立90周年事業の一環として、 6年振りに女性行員の制服をリニューアル

ユニフォームとしては導入実績が少ない上質な「ツ

イードチェック」の生地を採用。 機能性を追求しながらも、ノーカラーや比翼仕立ての

ベストを取り入れ、上品かつ洗練されたデザインを実現しました。また、色は、お客様に安心感と親しみを持っていただける優しい色合いのブルーで統一しました。

デザイン

田山 淳朗 氏 (熊本県出身)

コンセプト

上品・上質	洗練
質感へのこだわり、	ソフィスティケート (洗練)
品格へのこだわり	されたデザイン
機能性 動きやすさは心地よさ (着心地)	親しみ易さ すべての人に安心して 接していただける雰囲気をもった服

「肥後の里山ギャラリー」を開館

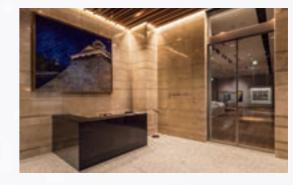
新本店ビル一階西側には、文化情報発信の拠点として、また、皆様に広く、ふるさと熊本の文化的所産や自然 風土への理解と親しみを深めていただく場として、「肥 後の里山ギャラリー」を設置しています。

24mの壁面展示ケースの他、公開承認施設レベルの設備を備えた展示スペースでは、熊本にゆかりのある歴

史的文化財や、絵画、写真など、貴重な作品を展示してまいります。

館内には、デジタルミュージアムを設置し、永青文庫所蔵の「領内名勝図巻」全巻や、熊本県内の重要 文化財等を、精細な画像でお楽しみいただけます。

また、永青文庫の古文書について学ぶセミナーや文化講演会、環境セミナー等も開催してまいります。





展覧会スケジュール

会期	展覧会名	内容・▼
平成27年7月13日(月)~8月22日(土)	熊本の水と緑の風景展	油彩、日本画、水彩、 版画、古写真約32点
平成27年9月7日(月)~10月10日(土)	富重寫眞所展 熊本の近代化とその都市模様	古写真、地図資料ほか 約50点
平成27年10月26日(月)~11月28日(土)	第1回永青文庫展 (細川家の茶道具)	茶入、茶碗、茶杓など 茶道具と関係資料 約50点
平成27年12月21日(月) ~平成28年1月30日(土)	肥後銀行資料展	金融史関係資料、 旧貨・紙幣等
平成28年2月22日(月)~3月26日(土)	熊本の現代作家(1) 上村隆一展	油彩、デッサンなど 約50点

就職

お客さまの人生設計に合わせて

ライフステージプランのご案内

当行ではお客さまのご就職、ご結婚、お子さまの誕生など、さまざまなライフステージに合わせた商品・サービスの提供に努めています。

各商品の詳細は、当行ホームページでご覧いただけます。

http://www.higobank.co.jp/

肥後銀行 検索











14

豊かな自然が織りなす、 くまもとからの贈りもの一。

肥後銀行では、くまもとの秘めた力を最大限に活用した 地域活性化の事業に全力で取り組んでいます。

ご存知ですか?

くまもとの赤

豊かな自然とその地形や気候を活かして、たく さんの農林水産物が生産されている熊本 県。「**くまもとの赤**」は、熊本県が発祥 する、**くまもとの"美味しい"をお届 けするブランド**です。





阿蘇の大自然で育まれた



くまもとあか牛は、褐色の毛色が特徴的で阿蘇の草原に放 牧されている姿で知られています。県内の畜産関係団体で 構成する熊本県産牛肉消費拡大推進協議会が推進する県 産牛肉の3銘柄(くまもとあか牛、くまもと黒毛和牛、くま もとの味彩牛)のひとつ。県内で12ヶ月以上肥育された褐 毛和種の牛肉で、肉質等級が2等級以上のものと決められ ています。適度な霜降りで和牛としてのコクも持ち合わせ、 健康とグルメを追求する現代の食生活にピッタリです。

□ラム 熟成!激ウマ!

ドライエイジングビーフ

ドライエイジングビーフとは、「乾燥熟成された牛肉」のことです。 牛肉は熟成されることにより、酵素の働きで肉質が柔らかくな り、旨味成分のひとつであるアミノ酸が増加していきます。

ドライエイジングは、30日以上も の長い時間をかけて、ゆっくりと 肉を熟成させていきます。表面を 乾燥させて熟成させるので、余 分な水分が飛び旨味と香りが内 側に凝縮されたお肉になります。



肥後銀行がお手伝いする「6次産業化」

肥後銀行は、そんなくまもとの"美味しい"をみなさまにお届けするために、 「6次産業化 事業の支援に積極的に取り組んでおります。



6次産業化とは?

1次産業である農林水産業が主体となって、 農林水産物の生産だけにとどまらず、それを 原材料とした加工 (2次産業) や流通・販売 (3 次産業) などにまで関わり、農林水産業を活 性化させようという取組みです。地域資源を 有効に活用し、経営の多角化を進めることで、 農山漁村の雇用や所得の向上を目指します。

肥後6次産業化ファンド

農林水産物の新たなビジネス展開支援を目的 としたファンド。

熊本の地域活性化のため当行と肥銀キャピタ ル㈱、㈱農林漁業成長産業化支援機構が共 同出資したものです。







【スキーム図】

肥後6次産業化 投資事業有限責任組合

有限責任組合員

㈱肥後銀行

肥後6次産業化ファンド 10億円

無限責任組合員

肥銀キャピタル株

肥後6次産業化ファンド 50% (議決権ベース)

1次産業 (生産)

25%超

議決権ベース

2次・3次産業(加工・流通等)

6次産業化事業体

(六次産業化法の認定)

※ 肥後銀行の具体的な取組み

1次産業者である何農化研、㈱九州夢ファーム及び地元の農業者 と2次・3次産業者である㈱丸菱によって設立された合弁企業で ある、㈱マースに投資いたしました。

(株)マースは「カット野菜」 「ドライエイジングビーフ」 「チーズ」 な どの製造販売を行っております。当行は地域特産品を活用した農 業の6次産業化は、農業の付加価値向上や雇用の創出等、地域 活性化に繋がるとの観点より、積極的に取り組んでおります。



地域振興部 地方創生戦略室 調査役代理 本島 知明

熊本の未来のために

金融リテラシー向上支援への取り組み





祝!世界文化遺産登録決定

荒尾市の「万田坑」と宇城市の「三角西港」が、「明治日本の産業革命遺産」として世界文化 遺産へ登録されることが決定しました。県内施設の世界文化遺産への登録は、今回が初めての ことです。

万田坑

日本最大の炭鉱施設



「万田抗は、明治30年~35年頃に三井三池炭鉱の坑口(※)として総 力をあげて作られた、当時、日本最大規模の炭鉱施設で、大正期から昭 和にかけて最盛期は年間80万t以上を出炭していました。採炭効率が悪 くなったことから、昭和26年に採炭を終了し、坑内メンテナンス施設 としての機能のみが残りました。戦後、石油が主力となり、外国産の石 炭との価格差が広がるなど、経営は厳しさを増していきます。大規模な 労働争議が繰り広げられたのもこの頃でした。平成9年三井三池炭鉱は 閉山し、124年の近代炭鉱の歴史は幕を閉じました。しかし、掘ったの は埋蔵量の3分の1くらいで、実はまだまだ石炭は地下に豊富に残って いるそうです。

※坑口 ~ 石炭を掘り出すための坑道の入口。



ロボット講師との連携による小学生向け金融教育を開催

これまで県内各地のセミナールーム等でお客様向けに各 種金融セミナーを実施して参りましたが、新たに小学生 向けの金融教育に取り組んでおります。この金融教育に 係る重要なサポート役として、「コミュニケーションロボ ットPALRO (パルロ)」を使い、子ども向けに分かりや すく、クイズ形式などを通して、楽しく学べる金融教育 プログラムを作成し、開催しております。



コミュニケーションロボット PALRO (パルロ) とは?

PALROは富士ソフト㈱が開発したコミュニケーションロボット。その会話力・コミュ ニケーション力・癒し効果は高齢者福祉施設をはじめとして、金融機関などの様々なシ ーンで、活用されはじめています。

三角西港

完全な形で現存する明治時代の港

熊本県の殖産振興に基づき、明治17年に熊本に新港を 作る計画が持ち上がり、政府から派遣されたオランダ人 技師ムルドルは、当初予定されていた熊本市の坪井川河 □に難色を示しましたが、三角を見た彼は、「ここぞ天」 然の良港」と絶賛したそうです。それから3年という突 貫工事で完成したのが三角西港で、明治三大築港のひと つとして数えられています。756メートルにもおよぶ石

積みの埠頭や水路、 建造物などは、築港 後1世紀の歴史を持 ちながら、今も当時 の佇まいを残してい ます。





当行と株式会社鹿児島銀行は、2015年3月27日に共同で作成した「株 式移転計画書 について、同年6月23日の両行の株主総会で承認可決 され、同年10月1日をもって、共同持株会社となる「株式会社九州フ ィナンシャルグループ」を設立いたします。

目 的

地方で現実化しつつある諸問題、地域金融機関を取り巻く環境変化に 対応するために、九州での存在感を更に発揮できる磐石な経営基盤を 確立し、「地方創生」の実現に永続的に貢献します。

設立予定の共同持株会社の社名

株式会社九州フィナンシャルグループ

グループ経営理念

わたしたち九州フィナンシャルグループは、持続可能な成長の実現に 向け、以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合 金融グループを目指します

1 お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融 サービスを提供します

わたしたちは、これまで培ってきた伝統・人材・想いを結集し、グルー プカを最大限に発揮することで、お客様お一人おひとりのニーズに寄り 添った、きめ細やかで質の高いサービスをお届けし続けることをお約束 します

2 地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積 極的に貢献します

わたしたちは、地域のみなさまとともに成長する総合金融グループとし て、県の枠を越え、活気と魅力に満ちあふれる、ふるさと九州の実現 にむけて、貢献し続けることをお約束します

3 豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未 来へ向かって挑戦し続けます

わたしたちは、ふるさと九州を彩る自然のような、豊かな創造性と広が りある自由闊達な人材・風土を育むとともに、希望に満ちた未来を次の 世代へつなぐため、一人ひとりが挑戦し続けることをお約束します

目指す相乗効果

グループ価値を向上し、ステークホルダーのみなさまの信頼とご期待に応えるために、経営 統合による相乗効果を着実に実現していきます。



営業戦略

- 2. 広域化戦略 1. 地域活性化戦略
- 3. 国際化戦略

- 4. 新分野戦略
- 5. 組織態勢強化・効率化戦略

指標目標

統合による相乗効果を最大限に発揮することで、お客様満足度の向上を追求し、質・量ともに 「九州」トップの総合金融グループを目指します。



統合効果施策の実行

スケジュール

2015年10月1日 (予定) 持株会社設立(効力発生日)および持株会社上場日

肥後銀行について (平成27年3月31日)

当行の概要

1 立 大正14年7月25日

■資 本 金 181億2千8百万円

店 熊本市中央区練兵町1番地

上店 舗 数 122 (このほか海外駐在員事務所1)

■総 資 産 4兆7,246億円

▮預 金 残 高 3兆8,750億円

▮貸 出 金 残 高 2兆6,890億円

▮単体自己資本比率 12.55% (国内基準)

▮連結自己資本比率 12.68% (国内基準)

■格 付 け A (スタンダード&プアーズ)

A+ (格付投資情報センター)

A1 (ムーディーズ・ジャパン)

▶ 1発行済株式総数 230,755千株

銀行グループ会社

肥銀リース株式会社 リース・貸付業務

クーク・貝内未切

肥銀カード株式会社 クレジットカード及び信用保証業務

株式会社肥銀コンピュータサービス 計算受託及びソフト開発等の業務

肥銀キャピタル株式会社

有価証券の取得・保有・売却及び 企業診断業務

株式会社肥銀用度センター

文書等の整理集配送及び 物品管理業務

肥銀ビジネス開発株式会社 労働者派遣及び有料職業紹介業務

肥銀事務サービス株式会社

後方事務等業務処理受託業務

当行の情報開示

ディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌 年2回発行(3月期・9月期)

当行の経営方針、業務内容や財務内容などをお知らせするために、銀行法第21条にもとづきディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)を作成しています。

掲載情報:会社概要/業務内容/決算情報 など



ディスクロージャー誌

ミニディスクロージャー誌

ホームページ http://www.higobank.co.jp/ 肥後銀行

当行の経営方針、商品・サービス、店舗などの情報をスピーディーかつタイムリーに掲載し、ご活用いただけるよう努めています。「株主・投資家の皆さま」のIRライブラリーには業績ハイライトや会社説明会資料なども掲載しています。是非、ご覧ください。

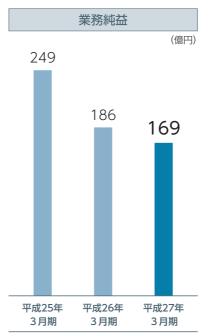




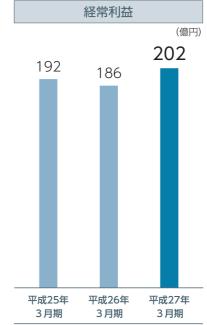


「株主・投資家の皆さま」 トップページ

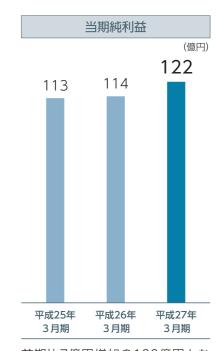
業績ハイライト(単体)



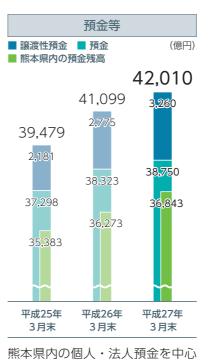
業務粗利益の減少に加え、経費及び一般貸倒引当金繰入額が増加したこと等により前期比16億円減少の169億円となりました。



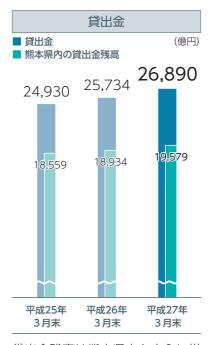
不良債権処理額の減少及び株式等 関係損益の増加による臨時損益の 増加等により、前期比16億円増加 の202億円となりました。



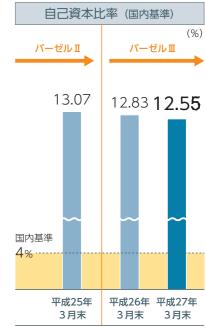
前期比7億円増加の122億円となり、過去最高益となりました。



に増加し、譲渡性預金を含む預金 等残高は前期末比910億円増加の 4兆2,010億円(増加率2.2%)と なりました。



貸出金残高は熊本県内を中心に増加し、前期末比1,156億円増加の2兆6,890億円(増加率4.5%)となりました。



貸出金増加等で自己資本比率は低下したものの、国内基準4%を大きく上回り、自己資本額は順調に増加しています。

